

公表日 2026年 2月 20日

事業所名 こばんはうさくら 廿日市教室

保護者等数(児童数) 31名 回収数 26件(割合84%)

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	2		1	見学やInstagramを見て広いと感じました。ぶつかっただのトラブルがないので広いと感じる。	玩具の整理整頓し、落ち着いて遊べるスペースを常に確保することを心掛けます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	3		6	こどもが何人いて、先生がそれに対して何人いるかはわからない。一人の先生が2人の子を見てくれるので安心する。	今後も、子ども一人ひとりに目が行き届くよう、適切な職員配置を行い、安心・安全な支援体制の維持に努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	1		7	最近教室の中を見ていないのでわかりません。	死角になる箇所があるので、子どもの行動を常に見守り、安全・快適に充分気を付けていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	20	2		4	どの先生も子どものことをよく理解していると感じる。	個人の活動、年齢に合わせたプログラムを考え、固定化しないように支援します。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	4		5		職員の研修や情報共有を行い、支援の質の向上に努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	3		4		支援プログラムの定期的な確認と見直しを行い、分かりやすい情報提供に努めてまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	3	1	1		今後も、子ども一人ひとりの特性や保護者のニーズ、課題を丁寧に把握し、客観的な視点に基づいた個別支援計画の作成と見直しを継続してまいります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	4	1	2		今後も、放課後等デイサービスガイドラインに基づき、「本人支援」「家族支援」「移行支援」の視点を踏まえ、子ども一人ひとりに必要な支援内容を適切に設定し、具体的な支援の充実にも努めてまいります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	3		4		個別支援計画に基づいた支援を継続するとともに、支援内容の統一と質の向上に努めてまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	2			クッキングだったり、土日の活動が他の事業所にはない活動があり、色々な経験ができる。	活動内容を工夫しながら、子どもたちが楽しみつつ成長できる多様なプログラムの提供に努めてまいります。
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	1	8	8		地域とのつながりを大切にしながら、交流できる機会を増やせるよう、活動内容や連携方法について検討してまいります。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	1	1	1		運営規程や支援プログラム、利用者負担等について、丁寧な説明を心がけ、安心してご利用いただけるよう努めてまいります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	6	3			契約時に説明しています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	4	8	9		保護者の皆様に役立つ情報提供や、家族支援につながる取り組みを検討し、実施できるよう努めてまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	22	3		1	利用する日の送迎時に様子などのお話ができている。家庭での様子もお伝えできている。	引き続き、保護者との連携を大切に、支援の質の向上に努めてまいります。
	16	定期的、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	6	2	1	利用する日の送迎時に先生方と色々情報交換できる。アドバイスももらったことがある。	今後も、送迎時のコミュニケーションを大切に、安心してご利用いただけるよう努めてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	4		4	子どもの気持ちに寄り添って話を聞いてくださり、安心して通わせることができている。	今後も、子ども一人ひとりの気持ちに寄り添った共感的な関わりを大切に、安心して通わせる支援を継続してまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	4	11	8		個人情報の保護やプライバシーへの配慮の観点から、実施が難しい状況です。今後も、送迎時の相談対応や個別面談等を通して、家族への支援の充実にも努めてまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	5		4	Instagramだったりアプリで情報が入ってくるのですが、子どもの顔が分かってしまいます。急な相談にも対応してくれている。	Instagramでもは個人情報保護のため顔が分からないよう配慮しています。ご本人のみが写っている写真については、保護者の同意を得たうえで個別にお送りする対応を行っております。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	2		4	送迎時にその日の様子を丁寧に伝えてもらえて安心しています。	今後も、送迎時の声かけやアプリ等を活用し、分かりやすい情報伝達を継続してまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	4	1	1		主にInstagramを通じて、活動内容の情報発信を行っています。今後も分かりやすい情報提供に努めてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	2		3		今後も引き続き個人情報保護の徹底に努めてまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	3		9		各種マニュアルを整備し、保護者への説明および職員間での共有を行います。今後は、保護者の皆様にもより分かりやすく周知できるよう工夫してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	1		6	避難訓練が定期的に行われており、参加させるようにしている。	今後も継続して安全意識の向上に努めてまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1		6		子どもの安全確保に関する計画を整備し、保護者へ周知した上で支援を行っています。今後も引き続き、安全管理の徹底に努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	4		4	子どもがシートベルトを着用したかの確認が不十分な時がある。	安全確認をより徹底するため、シートベルト着用の声かけ、目視確認を職員間で再度共有し、再発防止に努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24	1		1	どの先生にもなついており、楽しく通えている。笑顔が多く通えている。	安心して楽しく通える環境づくりを大切にし、今後も笑顔あふれる支援を継続してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24			2	長く通っていますが、行きたくないと言ったことはなく、楽しく通えている。	安心して楽しく通っていただけていることを大切に受け止め、今後も一人ひとりに寄り添った支援を継続してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	3		2	他の事業所にはない活動があり、満足しています。	多様な活動を通して子どもたちが楽しく経験できるよう、今後も内容の工夫と充実に向けて努めてまいります。

公表日

2026年

2月

20日

事業所名

こぼんはうすさくら 廿日市教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		児発と放デイの部屋を臨機応変に使用している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	子ども一人に対して、職員が2人つけるように配置している。	放デイの送迎の際に現場が手薄になることがある。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	5		入口から階段があり、バリアフリー化になっていない。仕切り化が難しい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日清掃し、清潔に保っている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			教室の構造上、一人で落ち着く場所がない。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	5	活動の前には内容の確認を行っている。	目標・振り返りを話し合う場がないため、今後作っていく。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2		内容を共有し業務改善につなげる。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	月1回のミーティングを行い、意見を話し合う場がある。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	外部評価により、業務改善に繋がっている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	オンライン研修などは職員全員で参加している。	療育に関する実践的な研修に参加していきたい。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	ホームページ・LINE・Instagramで公表している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	1	送迎時の保護者との相談やアセスメント更新の内容などをミーティングの内容として話し合い、個別支援計画作成の課題として支援しています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	常に個々の児童の成長をアセスメントシートで共有して。またそれに基づいて計画を作成している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	3	計画に基づいて職員間で共有し、沿った支援を心がけたい。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	日々の関わりや活動の様子を記録し、職員間で情報共有を行いながら、こども一人ひとりの特性に応じた支援につなげています。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	2		支援内容をもっと具体的に話し合い、方向性を共有したい。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	担当者立案により、検討している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	季節の行事を取り入れ、支援に沿ったプログラムをその都度検討している。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	集団活動の中で、参加する子どもも対応を細かく計画している。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		事前のスケジュール把握と、朝礼での伝達をしている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	当日を含め、しっかり振り返りを行い、次の活動への指針としている。	

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		業務日報などで記録を取り、検証、改善に繋げている。	
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	様子を共有し、会議を通して支援内容の見直しを行う。今後も記録の充実と情報共有の強化に努めていく。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7		活動プログラムに沿って支援を行っています。今後もバランスのとれた支援内容となるよう工夫してまいります。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	遊びの選択肢を複数用意し、子どもが自ら選べる機会を設けることで、自己決定力を育てる支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	2	児発管とともに、必要に応じてその他の職員も参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	5		関係機関との情報共有や連絡体制の見直しを行い、必要に応じて連携が図れる体制づくりを進めてまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	2	送迎時にできるだけ情報共有に努めている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	4		関係機関との情報共有の機会を増やし、こどもの状況をより正確に把握できるよう連携体制の強化に努めてまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		7		現在、該当する対象者はいませんが、今後該当する場合には、関係機関と連携し、これまでの支援内容等の情報提供を適切に行ってまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4		必要に応じて支援センターと連携を図っていますが、今後は助言や研修の機会を増やし、支援の質の向上に努めてまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	井口教室とイベントを通して関わっている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		7		現在はあまり参加できていませんが、今後は関係機関との連携強化のため、協議会等への参加を検討してまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時に話をしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4		家族支援プログラムや研修の実施機会が十分とは言えず、情報提供の方法や内容について今後検討が必要であると考えています。
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	3	見学・契約時に行っている。
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1	意向を確認する機会を設け、最善の利益を優先した個別支援計画の作成に努めています。今後も継続して丁寧な聞き取りを行ってまいります。	
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	1	同意を得た上で支援を実施しています。	
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		相談に適切に応じ、面談や助言を通して必要な支援を行っています。今後も継続して丁寧な対応に努めてまいります。	
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	6	個人情報等のため、現在は行っていません。	交流できる場を作っていきたい。
41		こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		迅速かつ適切に対応しています。	
42		定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		インスタグラムで様子を発信している。	
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		充分留意しています。	
44		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		配慮しています。	
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	個人情報等のため、現在は行っていません。	

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	マニュアルを策定し、職員や家族の方々に周知し、訓練も実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		作成し、研修と訓練も行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		見学・契約時に行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	食物アレルギーを確認し、対応もお薬の用法がかかれた資料を頂く・	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		研修と訓練を実施した上で、今後も継続して安全対策の充実に努めてまいります。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	保護者へ周知し連携を図りながら支援を行っています。今後も継続して情報共有に努めてまいります。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	3	事例を職員間で共有し、再発防止に向けた検討を行っています。より一層の安全対策に努めてまいります。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待防止のため、職員研修を実施し、適切な対応ができる体制づくりに努めています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	3		身体拘束に関する方針について職員間で共有していますが、今後は保護者への事前説明と放課後等デイサービス計画への明記をより徹底してまいります。	